

幼児教育

教員紹介 file

松山東雲女子大学
人文科学部 心理子ども学科

子ども専攻

影浦 紀子

KAGEURA Noriko



高校の時は演劇部
でした。
懐かしのラフォーレで
公演をした時の写真

これまでの歩み

松山市生まれ。幼い頃から手芸や工作が大好き。得意科目はも

ちろん、家庭科と図工。年の離れた弟の面倒をみるのも好きで、保育園の頃から保育士になりたいと思っていた。

中学校では真面目な生徒だった。高校では進学校に進み、小学校教諭と幼稚園教諭の免許を取ろうと広島に大学に進学。大学3年の時に、現場実践のこと、人形のもつ魅力を教えてくれたゼミの先生と出会ったことが転機になる。その先生に大学院進学を勧められ、合格するも、自分の中で様々な行き詰まりを感じ、早々に休学を決めてしまう。その間、松山で保育士として働くことになった。この経験を通して、子どもの成長の面白さ、保育の奥深さを知る。周囲の勧めもあって、大学院に戻り研究することに。大学教員の道へ。大学で働きながら結婚、出産。数年後、子育て環境などを考え、松山に戻り、縁あって本学の教員に。



研究室の
お人形たち

My research theme 私の研究テーマ

幼児教育の方法、保育方法
子ども理解

子どもが20人いれば、20通りの添い方があります。例えば、1歳の子どもたちと5歳の子どもたちでは、ボールの与え方も変わってきます。5歳であれば、1個のボールをみんなで使って遊ぶことを楽しめます。でも、1歳であれば、一人ひとりに自分のボールがあった方が楽しい。保育に正解はありません。答えは子どもの中に。子どもをよーく観察し、環境構成や言葉かけ、援助を考えることが大切です。

担当授業科目：乳児保育、遊び研究、保育カリキュラム論、
幼児教育の方法、メディアとしての絵本ⅠⅡ



小1の娘が家で時々開く『楽しむカフェ』がお気に入り。お茶を入れてくれたり、肩たたき無料チケットをくれたりします。

message

これから
学ぶ君へ

迷ったり、苦しんだり・・・
振り返ればそれが大事な宝物だったと思う。
悩んでいい!
明けない夜はありません。

